



第1回学校運営協議会が開催されました

5月10日(金)9時半より、本年度の第1回学校運営協議会が開催されました。今回は本年度のスタートでしたので、前半は学校長からの学校経営方針の説明と学校運営協議会委員による授業参観、学校の取組の計画説明を行いました。後半は本校児童の課題の一つである「自己表現の力をどう育てるか？」についてKJ法によるワークショップ(熟議)を行いました。協議内容は、次の通りです。

- 学校経営方針の説明
- 授業参観
- 学校の取組の計画
 - ・学力向上に向けた取組
 - ・研究推進の取組
 - ・生徒指導の現状と取組
 - ・体力向上、健康・食育の取組
- 熟議(自己表現の力をどう育てるか?)



〈協議の中で出された主な質問や意見〉

○ノーメディア DAY とはどういう日なのか、という質問がありました。

A: 子ども達がスマホやテレビを見ないで過ごす日として設けています。

これに関わっては、親がいない間にこっそり YouTube を見ている子がいる。大人もメディアに囲まれている世の中なので、子ども一人でスマホやテレビは駄目だが、家族と一緒に何かをする(例えばテレビを見る、ゲームをするなど)はいいのではないか?という意見が出されました。

○図書室利用の推進はどのようになっていますか、という質問がありました。

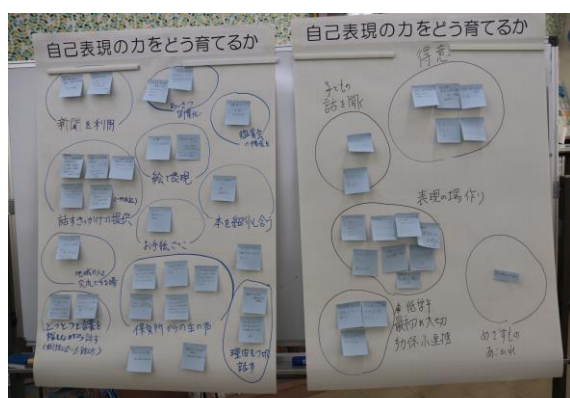
A: 一週間の期限での貸し出しや担任出張時の一時的な貸し出し等を行っています。また、昨年度までは読書の年間目標をページ数で設定していましたが、本年度からは冊数にしています。さらに、学習に関連のある本を市の図書館から借りてきて廊下に展示して活用しています。

これに関わっては、本を借りるだけでも良い。最近の子どもは言葉を知らない。知っていても使い方を知らない。図書館司書の方からは、現在は2週間で2冊借りれるが3冊に増やしても良いのでは? また、各単元でどんな本を使いたいかを司書に要望してもらえば、準備できます、といった意見が出されました。

○その他、登校時の危険個所の点検をお願いします、という意見も出されました。

○左の写真は、「自己表現の力をどう育てるか」について、2グループに分かれて書き出してもらったものをグループ分けしたものです。

「表現の場作り」「話すきっかけの提供」「得意分野を褒めて伸ばす」「地域の人と交流できる場の設定」「絵による表現(特に低学年)」等、様々な意見が出されました。これらの貴重なご意見を整理し、教職員とも共有していきながらさらに前に進みたいと考えています。



総合的な学習の時間スタート！5年生が小倉神社へ行きました



5月13日(月)、5年生が秋の学習発表会での総合表現「菖蒲の前伝説」に向けて、伝説に所縁が深い小倉神社を見学しました。現地へは今年も子どもを育む環境部会の井上順一さんに案内していただき、伝説の歴史的背景や原の自然について詳しく説明していただきました。

特に、今回は神社の鳥居前にて、校歌に歌われている「赤い土」(花崗岩の長年の風化によってできたもの)と西条盆地の水田の泥土の違いについて簡単な実験(写真)を見せてくださり、赤土は水がしみ込みやすく、大雨の際に災害の原因になりやすいことを学びました。

神社では、菖蒲の前のお墓とその周辺にある大小のお墓の説明を聞いた後、本堂に奉納されている絵馬の説明を聞いたり、伝説に登場する鵜(ぬえ)の話の聞いたりして、背景となった源平合戦の時代のイメージを膨らませることができました。子ども達は、話を聞きながら熱心にメモを取っていました。



今年も運動会で東広島音頭を踊りました



今年も新原民謡保存会の皆様に事前指導に来ていただき、上グラウンドにて入退場の練習も兼ねて踊り方のポイントを教えていただきました。練習の前に、東広島市は誕生50周年を迎えたこと、誕生当時は東広島音頭に歌われている西条、八本松、志和、高屋の4町からのスタートだったことを児童に伝えました。

当日は晴天に恵まれ、保護者や地域の皆様にも踊りの輪に入ってもらい、盛大に踊ることができました。保存会の皆様、踊りに加わってくださった保護者、地域の皆様、ご協力ありがとうございました。